

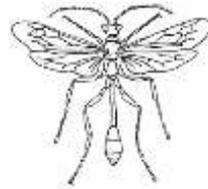
花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記2

国立市立国立第七小学校

平成26年10月25日 NO.51 (151)

ハチ目

カブトムシのグループの次に大きなグループ。ハチ目の仲間は、触角が長くて、ハエ目は、短いんだ。アリはハチと同じ仲間です。



透明なまくのような羽をもっていて、前の羽は大きく、後ろの羽は小さいのさ。細くびれた胴がスマートで一す。

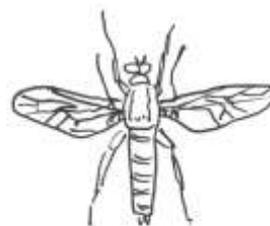
成虫が女王と働きバチ（アリ）にわかれて、社会性な昆虫もあるんだ。

大きな複眼をもっていて、3つの単眼は明るさを感じるんだ。すごいだらう。

ハエ目

ハチに似ているけど、羽が2枚しかないのさ。本当はあったけど、なくなっちゃたのさ。触角は短いよ。ハエ・アブ・カがハエ目さ。

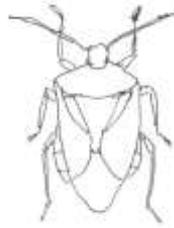
飛ぶのがとてもうまくて、空中でもとまったりもかんたんにできるよ。



幼虫には足がなく、ウジ虫がたなんだ。

カメムシ目

セミ、カメムシ、アブラムシ、アワフキムシ、ミズカマキリなどがカメムシ目^{もく}なんだ。



カメムシには、^{なが}長い触角^{しよつかく}があって、^{まえ}前の羽^{はね}の半分^{はんぶん}はかたいのが特徴^{とくちよう}なんだよ。



アメンボもカメムシ目^{もく}さ。^{はり}針のような口^{くち}で植物^{しよくぶつ}のしるや動物^{どうぶつ}の体液^{たいえき}をすうのがカメムシ目^{もく}の特徴^{とくちよう}なんだ。



セミで鳴く^なのは、オスだけ。どうしてかという^なと、おなかに発音器^{はつおんき}というものがあるからなんです。

バッタ目

コオロギの仲間^{なかま}は夜行性^{やこうせい}なので、触角^{しよつかく}は長い^{なが}んだ。それに食べ物^{たもの}は雑食性^{ざっしよくせい}で何でも食べる^{なんた}のさ。



後ろ足^{うしあし}は長くて発達^{なが}していて、ジャンプがとくい。オリンピック選手^{はったつせんしゆ}だってかなわない。



昼間^{ひるま}に活動^{かつどう}するバッタの仲間^{なかま}は触角^{しよつかく}が短い^{みじか}。バッタやコオロギ、キリギリスが同じ仲間^{おななかま}。幼虫^{ようちゆう}は成虫^{せいちゆう}の羽^{はね}をとったような形^{かたち}。

